

校長室の窓から

令和2年 8月 7日

江戸川区立西小岩小学校 校長 則岡 小織

明日から夏休み、生活リズムを大切に

いよいよ夏休みです。どうぞ健康に気を付けてゆっくりお過ごしください。25日(火)の始業式には、一段と大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

さて、休み明けに一番心配なのが、「生活リズムの乱れ」です。学校はもちろん、実は、江戸川区立小学校 PTA 連合協議会でも生活リズムについて提唱しているのです。「豊かな心 確かな学力 生きる力は 確かな生活リズムの向上から！」と。親子の秘訣五カ条と言うものがあります。

生活リズムを高める

親子の秘訣 五カ条

- 1、夜ふかし ひかえて はや寝はや起き
- 2、あいさつ いっぱい 高まる意欲
- 3、しっかり朝食 あふれる活力
- 4、読書で築く 親子の絆
- 5、家庭での 学びの習慣 高まる学力

紹介します。

ご存知でしたか？

当たり前のことのようにですが実行するとなると、なかなか難しいことです。

この夏、ご家庭で挑戦してください。

お忙しい時期に、個人面談ありがとうございました。初めて担任と顔を合わせた保護者の方も多かったのではないのでしょうか。遅ればせながら、今年度どうぞよろしく願いいたします。教員も新規採用から30年以上のベテランまでと、その幅は広いです。若手は若手の良さを、ベテランはベテランの良さを出し合って互いに補完しながら学級・学年経営を進めています。一人一人の力が一つになって学校が成り立っています。担任が子どもたち一人一人の良さを見つけ、認め、伸ばすよう指導し、喜びを感じていることと同様に、私も、教員が力を付けて伸びていくことに喜びを感じます。そして、その伸びが子どもたちへの指導の向上につながり、子どもたちが育っていくと確信しています。

今年度は、学習や生活の様子を公開する機会がありません。ぜひ、困ったことや聞きたいこと、相談等があるときには先ず担任に話してください。担任との信頼関係を築くことが大切だと考えます。教員にもきちんと保護者の話に耳も心も傾けて聴くことを指導しています。学校は、担任をはじめ学年・管理職も保護者の話を聞きますので遠慮なくお話しください。お子さんを伸ばしていくためには家庭と学校の協力が必要です。個人面談を機に担任とのよりよい関係を作っていってほしいと思います。

<学習・生活の様子>



【1年生 生活科】
水と仲良くなりました。
ペットボトルに水を入れて自分たち
で作った的めがけてシュー！
的に当たって大喜び！

うちわの骨だけを利用した、形も
大きさも様々なシャボン玉！
「たくさんできた。」「ほら、一列に
なってるよ。」と、大はしゃぎでした。
体操着が濡れるのも気にせず楽しん
でいる姿がまさに1年生！



【4年生 国語】

落語「そろそろ」の披露
小道具の扇子を使って堂々たる話しぶりに
思わず笑いと拍手！



【4年生 音楽】

リズムに乗って練習中！ そろってますね！



【 5年生 家庭科 】



玉結び、玉止めの練習をしています。ちょっとしたボタン付けくらいはできるようになりたいですね。

マスクをしていなくても、みんな静かに集中して取り組んでいました。

5年生の終わりには、どんな作品ができるのでしょうか。



【 6年生 図工の作品 】

3月の教材として取り組んでいましたが、休校により今年度になってから続きの作業に取り組みました。

「わたしのいす」
何を置くのでしょうか。
自分の部屋や家が明るくなりそうですね。

5年生も本棚を作製中。
仕上がりをお楽しみに！

【学校の給食って】

8人の調理さんが、毎日600食ほどの給食を作ってくださっています。7:00に食材が搬入され、7:30には下ごしらえが始まります。6日の中華サラダに入っていた人参は、100本ほど使用しました。100本のニンジンの皮をむき、ゆでたり切ったりすることを考えたことがありますか。しかも、夏場、30℃以上の給食室での作業はとても大変です。食材の値段が不安定な中、献立を考える栄養士さんの苦労も絶えません。当たり前のように出される給食ですが、提供されるまでのことを考えることも子どもたちには必要だと感じます。食経験の少ない子にとっては、給食で初めて口にするメニューもあります。「残さずに食べる」「好き嫌いをしない」の指導も必要ですが、今は無理をさせたり、残して食べさせたりすることはありません。段階を追って「食べること」の大切さを指導しています。コロナ禍で、会話を楽しんで食べることができません。その代わりによく噛んで食べたり、食後の時間を工夫したりしています。



作ってくださった人に感謝や思いを伝えるためのコーナーが給食室の前にあります。

子どもたちは、その日の給食の感想を付箋に書いて貼ります。「〇〇がおいしかったです。また、作ってください。」「いつもありがとうございます。」など、思いを伝えています。私も読みながら、書いた子の顔が浮かんできます。栄養士さんや調理さんも嬉しく大変励みになるそうです。これもコミュニケーションですね。

感謝できる学級は、食器の片付けもきちんとしています。洗っていただく人のことを考えることができるからでしょう。

給食は、自分の体を考えて食べることのみならず、実は、学校給食で育てたいことがたくさんあるのです。「感謝」も一つです。ご家庭でも話題にしてください。

【考える子を目指して】

「考える」と、簡単に言いますが、「考える」には、学習で「考える」、相手の気持ちを「考える」、善悪を「考える」などいろいろあります。これまでは登校班登校だったため、世話人さんや班長さんが声をかけ、並んで登校してきました。ところが、自由登校の今、道路いっぱい広がって歩く、大声で話しながら歩くなど課題が見えます。結局は、自分で考えての行動が身に付いていなかったのです。残念な思いと、2学期から引き締めて取り組まなければという思いです。誰かに注意されるからではなく、そうすべき理由をきちんと理解して行動できる子を育てていきたい、いかなければと感じています。生活での「考える」を大事にしたいです。